

3学年 学年通信 NO.17



★ 前期を終える週だからこそ、しっかり振り返ろう！ ★
～ これまでの自分、これからの自分 ～

今年度、私はこの学年に加わりました。4月、初めてみんなの前に立った時、私自身も少し緊張していました。みんなにとっても「新しく来た先生って、どんな先生なんだろう」と思う時間だったかもしれませんね。

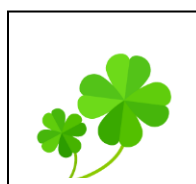
そんな出会いから、半年が過ぎました。授業したり、進路について話をしたり、行事で一緒に過ごしたり…。毎日の学校生活の中で、少しずつみんなのことを知るようになりました。

とはいえ、まだまだ知らないこともたくさんあります。それでも、この半年間、みんなと一緒に過ごしてきたからこそ、今、前期の終わりを迎えて思うこともあります。

まずは、【みんな、それぞれに成長しているな。】ということ。

その成長は、いつも目に見えるものばかりではありません。

- 授業で以前より発言するようになった人。
- 友達への声のかけ方がかわった人。
- 苦手なことにも取り組もうとしている人。
- 進路について、少しずつ自分事としてしっかり考え始めた人。



本人は、「そんなに変わっていない」と思うことでも、周りから見ると確か成長していることが、多々あります。と同時に、次のことも感じています。それは、

【みんなに置いていかれないように、成長して！】ということ。

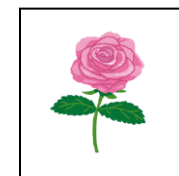
これは一人一人を思い浮かべながら評定をつけていて思ったことです。私にも中学生時代はありました。目に見えてわかりやすいものは、やはり、定期考査や授業内の小テストです。だから点数をみて『一喜一憂』するのもわかります。けれど、答案が返されたあとの振り返りもぜひ大切にしてほしいです。返却されて考えてことをまとめ、このあとどうするかの方策を立てましょう。そして、実行に移してください。振り返りを生かしせるか否かは、みんな次第です。

3年生の後期は、進路について考える時間が増えていきます。迷うこともあるでしょう。でも、迷ったり悩んだりすることは、真剣に自分の未来を考えているからこそ生まれてくる想いです。周りにいるいろいろな人の話を聞いて、自分も考えて、また誰かに相談するのもよいです。そうしながら、少しずつ自分の答えを見つけてください。実際に高校に通うのは、あなた自身です。

進路は誰かに決めてもらうものではありません。自分のこれからを、自分で考えて進めていくものです。国語の授業でも、「作者は何を伝えたいのか」を考えることがあります。この思考は、進路について考えることにも役立ちます。「自分はどうしたいのだろうか?」「なぜ、そう思ったのだろうか?」そんな問いを、自分自身に投げかけ、悔いの残らない進路を見つけ、歩んでいきましょう。

卒業まで、あと半年。長いようで、あっという間です。勉強も、友達との時間も、何気ない一日も、大切にしてください。今年、この学年に出会えたことを大切にしながら、後期もみんなと一緒に、一歩ずつ進んでいきたいと思います。

後期も、一歩ずつ、確実に前進!!



★ 開かれた学校教育・道徳授業地区公開講座 ★

9月24日(木)5・6校時、以下の目的で【道徳授業地区公開講座】が実施されました。

学校、家庭及び地域社会が一体となり、子供たちの豊かな心、思いやりの心を育むとともに、本校における道徳教育活動の周知と充実を図る。

- 主旨
- 公開授業の内容を中心とした保護者や地域の参観者との意見交換を通し、学校・家庭・地域社会が一体となった道徳教育活動を推進する。
 - 保護者をはじめ、教員以外の視点からの意見も取り入れ、道徳を活性化するとともに、質の向上を図る。
 - 道徳科の授業を公開することにより、開かれた学校教育をさらに推進する。

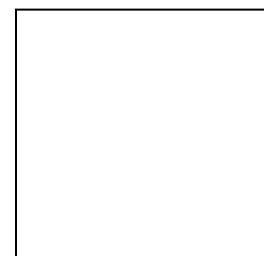
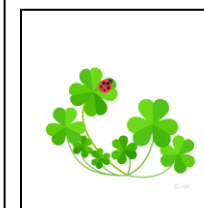
当日配付した資料は、裏面に添付します。そして、当日の授業や協議会の様子を少しだけ紹介します。

テーマは【思いやり、感謝】

【教員より】 今回の教材は、『高校生になると、実際起こりうる状況(電車の中で、席を譲る)』。授業をきっかけに、学校生活全般で継続して【思いやり、感謝】について考え、実践していったほしい。

【保護者より】 家庭・地域と協力し、共に生徒を見守り、支えていきたい。今回みんなで演じ、考えてことが今後の人生の中で生きてくれると嬉しい。

事前アンケートで、生徒の実態を知ることができてよかった。



保護者の皆様へ

道徳授業地区公開講座 授業案内【第3学年】

日 時 令和8年9月24日(木)

5校時 13:25~14:15

学校名 江東区立深川第四中学校

1 生徒の実態(アンケート結果)



2 教員の思い

この教材を行ううえで生徒には困っている人がいたら率先して声をかけられる大人になってほしいと考えます。電車の中で席を譲るという行為は、身近な内容でもあるので体験学習を通して、その行動の意味を考えて、自主的に行動できる力を養っていきたいと考えます。

3 教材の要約

タケシは、電車で女子2人が老人に席を譲る姿を見て、先週自分の行動を振り返ります。それは、面倒なことに巻き込まれたくない友人に「最初から席を空けておいたほうが面倒なくて楽」と言われたことに違和感をもちながら、その後やってくる老夫婦に「席を空けていってくれてありがとう」と言われ、これが本当に思いやりなのかと考えるようになったことです。席を空けておいた自分たちの姿と女子2人の譲った姿を比べ、相手の気持ちを考えて行動すること、相手に気を遣わせないように行動するさりげない親切について本当の思いやりとは何か考えることができる作品となっています。

4 授業の流れ【B-1(6) 思いやり、感謝】

生徒の学習活動 〇問いかけ内容	見ていただきたい生徒の様子
〇思いやりと聞いて、どんなことを思い浮かべるか? ・思いやりがある行動とはどんなものか、自分の経験を振り返らせる。 ・「電車の中で」の範読を聞く。	・思いやりとはどんな気持ちか、考えている様子。
〇ケンたちに言われてしぶしぶ席を立ったとき、タケシはどんな気持ちだったのだろうか? ・高齢者がきたら席を譲ろうと思いつつ、ケンたちの意見に流されてしまったタケシの気持ちを考えさせる。	・タケシの行動を見て、「面倒から避けること」が本当の思いやりかどうかを考えている様子。
〇『体験学習』 座っていて席を譲りお礼を言われる場面と、座らずに席を空けておいてお礼を言われる場面を演じる。	・譲る側としてどのような心情の違いがあるかを見出そうとしている様子。
〇タケシは、席を譲らずにいた自分たちの行為と、席を譲った女子二人の行為を比べて、何を考えたのだろうか? ・思いやりとは相手を気遣いながら関わろうとする心であり、その心を形にしてこそ相手との心の通い合いが生まれることに気づかせる。	・女子二人が気遣って席を譲ったことと、面倒から避けるために立っていたことの2つの行動の違いがあることについて考えて伝えようとしている様子。
〇思いやりの心と形は、どんなものがあると思うか? ・本時の学びを振り返り、思いやりや感謝をもって行動するために、これから意識したいことをワークシートに記入する。	・本時の学びを踏まえ、思いやりの気持ちをもって行動することを意識して、今後の生活について考えて伝えようとしている様子。

★ 10月の予定 ★ 予定は変わることがあります。

月	火	水	木	金
			8 ・⑥合唱練習	9 前期終業式 ・5時間授業 ・安全指導
12 スポーツの日	13 後期始業式 ・5時間授業 ・アルバム個人写真(欠席者撮影) ・⑤第2回進路説明会 ・専門委員会 ・中央委員会	14 ・⑤合唱練習	15 ・避難訓練 ・⑥合唱練習	16 ・⑥合唱練習 ・第3回進路希望調査しめきり
19 ・委員認証式 ・⑥合唱練習	20 ・⑤⑥合唱コンクールリハーサル	21 ・職員会議	22 ・5時間授業 ・④合唱練習 ⑤前日指導	23 ・合唱コンクール
26 ・5時間授業 ・三者面談・始	27 ・5時間授業 ・三者面談②	28 ・三者面談③	29 ・5時間授業 ・三者面談④	30 ・5時間授業 ・三者面談⑤



【合唱コンクールに向けて】

♪ 合唱の奥義(おうぎ) ※ 聴き手に向けて ♪
・その道の奥底に秘められた最も深く重要な究極な教えや技術・真髄を指す言葉。

● 届く → 響く → 沁(し)みる → 震える